

2. 整備事業

I 産地競争力の強化に向けた取組用

(栃木県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①								成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				現状値の基準年度(平成22年)	1年後(平成24年)	2年後(平成25年)	3年後(平成26年)	4年後(平成27年)	5年後(平成28年)	6年後(平成29年)	目標値(平成29年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費					その他
佐野市	佐野市有害鳥獣被害対策協議会	鳥獣被害防止施設(水稲・野菜、イノシシ)	農作物被害の減少	5,534千円	10,991千円	7,076千円	14,114千円	10,394千円	9,912千円	2,810千円	5,080千円	600%	平成29年度において、被災前以下の被害額に抑えられ、目標値を達成することができた。	鳥獣被害防止施設ワイヤーメッシュ柵イノシシ用3,570mイノシシ・ニホンジカ用8,490m	6,034,833	5,000,000	0	0	1,034,833	H25.3.5	侵入防止柵未設置集落の接続による機能向上により侵入を防止し、集落の連携による地域ぐるみの総合的対策の推進を図った。 一級河川沿いの藪や隣接する耕作放棄地は地域住民等による刈り払いにより解消され、大型河川敷周辺では、藪化した加害鳥獣の住処又は隠れ場がなくなり、侵入経路を防いでいる。 各集落で様々な地域ぐるみ対策に積極的に取り組み、イノシシ等の侵入防止柵内への侵入が軽減された。 また、侵入防止柵を維持管理するために定期的な見回りや草刈りを行うことで、獣害対策の意識向上が図られる等、一定の効果により被害減少が図られ、目標を達成した。	捕獲体制の強化、環境整備、侵入防止柵整備等、地域住民が参加した被害防止対策に積極的に取り組んでおり、当初の事業目標を達成することができた。	平成23年度明許繰越
塩谷町	塩谷町野生鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設(野菜・豆類、シカ・イノシシ)	シカ・イノシシによる農作物被害の防止	2,983千円	17,564千円	4,638千円	8,428千円	31,328千円	22,441千円	23,085千円	2,744千円	-8.411%	塩谷町における、事業計画当初の対象獣種(イノシシ、シカ)及び品目(野菜類、豆類)の被害金額は、1,096(千円)で当初目標については、達成していると考えられる。 また、整備地区においては、事業実施以降に対象獣種による被害は発生していない。	鳥獣被害防止施設(シカ、イノシシ用金属フェンス)の設置3,940m	9,062,000	9,062,000	0	0	0	H25.3.25	イノシシ・ニホンジカの生息域が震災後に町内全域に拡大したことから、それに伴い鳥獣の被害金額も大幅に増加した。 H28年度から集落ぐるみの侵入防止柵を設置と鳥獣被害対策実施隊による捕獲強化や緩衝帯の整備を継続的に実施している。 整備事業実施地区での被害は抑えられているが、被害発生地区は拡大しており、町全体の被害金額は前年度並みとなった。	町全体の農業被害額の減少に向け、協議会を中心に住民参加型の被害防止対策を総合的に進めているものの、野生鳥獣の生息域拡大により、対策未実施地域では依然被害が発生しており、特に水稲の被害が多いために、本計画の目標は未達成となっている。 しかし、本事業の整備地区においては、当初計画に掲げていたイノシシ・シカによる野菜・豆類の被害は発生しておらず、事業効果は十分に得られていると判断される。このため、本来の事業目標は達成されたと考えられる。	平成24年度第1補正繰越

※塩谷町：事業実施後の状況欄にある金額及び達成率は、上段が全獣種・全品目の場合、下段が対象獣種・品目の場合を示す。

都道府県平均達成率	-3905% 344%	総合所見	侵入防止柵を整備した地区では対策の結果が現れているが、未整備地区では依然被害が発生している状況である。侵入防止柵の整備だけでなく、捕獲対策や生息環境整備を組み合わせた総合的な対策に取り組むと共に、防除対策が成功した取り組みを他地域へ普及させていく。また、全県的にイノシシ・シカの生息域が拡大傾向にあることから、引き続き、鳥獣管理士等の指導やアドバイスのもと研修会や集落点検を実施するなど、獣害に強い体制づくりの推進を強化することで被害の減少を図っていく。
-----------	----------------	------	---

- (注) 1 事業実施計画に準じて作成すること。
 2 要領第1の1の(2)のイの(ア)から(ウ)の場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。
 ※上記「都道府県平均達成率」の数値は、上段が全獣種・全品目の場合、下段が対象獣種・品目の場合を示す。

2. 整備事業

I 産地競争力の強化に向けた取組用

(栃木県 平成30年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				(基準年)平成26年度	事業実施年度(平成27年度)	1年後(平成28年度)	2年後(平成29年度)	目標値(平成29年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
佐野市	佐野市有害鳥獣被害対策協議会	鳥獣被害防止施設 (水稲・野菜、イノシシ、シカ)	農作物被害の減少 農作物被害額 H29年 15,387千円	18,561千円	12,992千円	15,222千円	4,291千円	15,837千円	523%	平成29年度において、被災前以下の被害額に抑えられ、目標値を達成することができた。	鳥獣被害防止施設 ワイヤーメッシュフェンス イノシシ・シカ用 (H=2.0m) L=8,625m	8,874,375	8,871,000	0	0	3,375	H28.3.6	本事業でフェンスを導入したことにより、イノシシ捕獲頭数の減少がみられ、加害獣の侵入防止効果が発現した。また、対象地域ではフェンスを維持管理するために定期的な見回りや草刈りをすることで、獣害対策の意識向上が図られる等、高い効果が認められた。	地域住民も参加した鳥獣被害防止対策を総合的かつ積極的に取り組んだ結果、農作物被害の軽減につながり、当初の事業目標を達成することができた。	
栃木市	栃木市野生鳥獣被害対策連絡協議会	鳥獣被害防止施設 (水稲、穀物、資料作物、野菜、いも類、イノシシ、シカ)	既存の侵入防止柵の再編整備を行い、耕作地へのイノシシ・シカの侵入を防ぐことにより、被害額を2,210千円減少させる。	11,050千円	2,844千円	2,160千円	1,751千円	8,840千円	421%	防止柵の直接的な効果に加え、地域住民の意識向上もあり、農作物被害が大きく減少した。	鳥獣被害防止施設 (ワイヤーメッシュ柵)の設置 鍋山 2,185m 大柿 2,500m	4,600,800	4,536,000	0	0	64,800	H28.3.10	侵入防止柵を設置した2ヶ所ともイノシシによる農作物被害が継続して減少しており、成果目標値を達成している。	捕獲の強化、適切な環境整備や侵入防止柵の整備・維持管理を、農地所有者を中心とする管理主体が積極的に取り組み、当初の事業の目標を達成することができた。	

都道府県平均達成率	472%	総合所見	侵入防止柵の整備地区では、地域住民等の獣害対策意識の向上もあって総合的な被害防止対策の取組を進めており、農作物被害の減少につながった。
-----------	------	------	---

- (注) 1 事業実施計画に準じて作成すること。
 2 要領第1の1の(2)のイの(ア)から(ウ)の場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。